

# 一般質問

六月定例会では、  
七人から一般質問が  
行われました。

## どうなる、屋地・虎居地区の 土地区画整理事業



新改 秀作議員

新改秀作議員 屋地・虎居地区の区画整理について

の調査検討報告書によると、事業費の増加、財源不足による事業の縮小と思われる。空き店舗が目立ち、また、合併を控え、多くの課題も山積している状況ではあるが、合併後においても、この地区は、メインの商業地域になると思われる。

これまで町長は、河川改修・道路拡幅・区画整理の三点セットを進めて

いくと言っているが、果たしてこの財政難のなかで、可能なのか。何年間も協議し、多額の経費も費やしたはずである。合併前に、何らかの方向性を出す必要が、あるのではないか。

北村町長 平成十三年度に「まちづくり基本調査」を実施し、平成十五年度にはTMOの商業集積について調査した。しかしながら、平成十五年度から国の補助率が1/2から1/3に減少し、計画の見直しが必要となった。国の財政難で計画が凍結している自治体もあり、河川改修・道路拡幅・区



国道328号と国道504号が交差する虎居商店街

画整理の三点セットは、無理であると思われる。今後においては、商工会

とも話し合いながら、できるだけ早急に、方向を出したいと考えている。

## 行政業務の外部委託を

新改議員 財政難。合併等において町行政業務も今後見直しをする必要性

もあると思われる。業務を民間委託することで、コストを三〇〜四〇割削

減できる業務も、たくさんあるのではないか。アウトソーシングと言われる民間委託は、今後、注目を浴びてくると思われる。現在の外部委託の状況は。また、今後、どのように進めていく考えか。

町長 「民間にできることは、民間で」というアウトソーシングは、行政改革のなかで必要なことである。現在までの主な取り組みとしては、「山崎・佐志出張所」、「保育園」、「ゴミ収集業務」等の委託があるが、平成十七年度は「敬老園」の民間移譲も計画している。また、今後、「学校給食センター」なども検討していきたい。委託にとらわれず、民間の持つノウハウを活用した民間移譲も視野に入れながら、財政面や地域経済の発展を考慮しながら、進めていきたい。